

特集

防災を考える

自分のことと地域のい

夏から秋にかけては、大雨や台風の影響で、住宅の浸水や土砂災害が発生する危険性が高まります。自然災害の発生は避けられませんが、自助・共助・公助それぞれが連携することで、災害の被害を最小限に減らすことができます。

大きな災害が発生すると、役場などからの支援に時間がかかる場合があります。そのため、被害をできるだけ少なくするために、自分の命は自分で守る「自助」と、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」がとても重要となってきます。

また、消防団や自主防災組織の活動に積極的に参加するなど、自助、共助による災害対応力を高めることが、災害に強い地域づくりにつながります。

環境防災課防災班 ☎(84)12116

自助

自分の命は自分で守る

POINT 1 気象情報・避難情報には細心の注意を

台風等の気象情報には十分注意し、早めの避難を心がけましょう。

また、避難情報も注意し、的確な避難行動をとりましょう。

※避難に時間のかかる高齢者や障害のある方は、「警戒レベル3 高齢者等避難」で、危険な場所から避難しましょう。高齢者以外の方も必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしましょう。危険を感じたら自主避難をするタイミングです。

また、「警戒レベル4 避難指示」が発令されたら、危険な場所から全員避難しましょう。

※避難情報は、災害種別と対象地区を指定して発令されます。冷静に判断し、落ち着いて行動しましょう。

POINT 2 有効な情報収集方法を紹介

気象庁 キキクル(危険度分布)

気象庁が気象予報をもとに作成しており、地域に差し迫った土砂・浸水・洪水などの災害の危険度が一目で分かります。



↑キキクルはこちら

千葉県防災ポータルサイト

千葉県地震・津波・台風などについて、詳しく知ることができます。



↑ポータルサイトはこちら

POINT 3 防災マップの確認

自宅や自分のいる場所を防災マップ(ハザードマップ)で確認し、洪水や津波による浸水などの災害リスク、避難場所・避難所などの情報をあらかじめ確認しておきましょう。

防災マップは、環境防災課で配布しているほか、町ホームページでも確認できます。



避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。



危険な場所から警戒レベル3で(高齢者等は避難)、警戒レベル4で(全員避難※)です。

※警戒レベル4「全員避難」は、高齢者などに限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。

警戒レベル4 避難指示で危険な場所から避難です

